

第 1 回福井県地域公共交通活性化協議会

日 時：令和 7 年 6 月 2 日（月）10：00～11：30

場 所：福井県教育センター 4 階大ホール

1 開会

2 あいさつ

福井県 姫川未来創造部新幹線・交通まちづくり局長

3 協議事項

（1）協議会規約（案）および構成員（案）について

- ・事務局より資料 1 および資料 2 説明
- ・異議なし、原案のとおり承認

（2）会長選出について

- ・事務局から川本委員を会長に推薦
- ・異議なし、川本委員を会長に選出

（3）令和 6 年度事業報告および決算報告について

- ・事務局より資料 3 説明
- ・監事より会計報告
- ・異議なし、原案のとおり承認

（4）令和 7 年度事業計画案および予算案について

- ・事務局より資料 4 説明
- ・異議なし、原案のとおり承認

4 報告事項

(1) 計画の各事業の進捗状況について

(2) 計画の目標値の達成状況について

- ・事務局より資料5および資料6説明

<補足説明>

福井県←過去の議事録では社名・団体名のみ、会長のみ川本会長と記載

- ・外国人運転士の確保に向けた検討会を今年の5月から始めている。
- ・昨年県職員2名、福井市職員1名を兼業運転士として確保した。各市町・団体の皆様におかれても兼業について周知いただきたい。あわせて、運転体験会や二種免許取得支援についても広報をお願いしたい。

川本会長

- ・兼業運転士3名は免許を元々持っているのか。

福井県

- ・県の2名については、昨年中に県の支援を活用して二種免許を取得し、3～4月から運転している。

<意見交換>

福井鉄道株式会社

- ・地域ごとの計画の進捗管理をするだけではなく、利用者増や人材確保など、全県的に取り組むべき課題を協議会で議論すべきではないか。

福井県

- ・全県的に取り組むべき課題について、協議会で議論していきたい。

川本会長

- ・最近計画を策定したこともあり、今回は嶺北嶺南それぞれの状況把握という趣旨だと思う。今後、各部会や専門部会で全県的な目標についても議論してもらえるとよい。

事務局

- ・全県的に取り組んでいる施策等について議論できるよう工夫していきたい。

ふくい路面電車とまちづくりの会

- ・協議会の中で、計画が修正されることはあるのか。
- ・資料5のJRに要望する小浜線の「利便性の高いダイヤ」とは何か。

事務局

- ・協議会で出た意見を基に、翌年度予算や次期計画に反映させていきたい。
- ・通勤通学時間帯など、実態に即したより利便性の高いダイヤを想定している。

西日本旅客鉄道株式会社金沢支社

- ・小浜線については、敦賀駅での新幹線との接続性や、観光や通学利用など利用状況を考慮してダイヤ編成している。
- ・利用あつてのダイヤ編成。要望を受けても、事業者単独で解決できることは限られているので、協議会の場で解決策を皆で議論していきたい。

福井河川国道事務所

- ・地域のためにどうインフラ整備を進めるべきか、協議会の場で事業者等と議論したい。予算的にも支援の枠組みは持っているので、協力したい。

中部運輸局交通政策部

- ・現在の計画は令和11年3月までを期限としているが、議論を進める中で全県的な計画の必要性が出てきたら、期限を短縮して改定してもよいのではないか。

事務局

- ・全県的な計画は令和11年に策定予定だが、期限にとらわれず、全県的な議論を協議会で進めていきたい。

三寺委員

- ・部会での事業者からの発言内容に対する回答が用意されていなかった。議論の進め方について検討してもらいたい。
- ・協議会の場だけでは発言しづらいと思うので、地域代表の方に意見をもらえる機会を別途設けた方がよいのではないか。

福井県老人クラブ連合会

- ・乗用車を利用することが多いので、もっと公共交通を利用するようにしたい。

福井県PTA連合会

- ・協議会の場で聞いた事業者の取り組みや課題を持ち帰り、地域の子ども達と公共交通を利用する等、自身の体験を踏まえて連合会の中で発信させてもらっている。今後も協議会に参加し、利用促進のため発信をしていきたい。

ふくい路面電車とまちづくりの会

- ・足が不自由な高齢者の生活のための移動手段として、バスの確保をお願いしたい。
- ・採算性だけでなく、県民の生活の質向上につながるような視点で議論してもらいたい。

(3) 協議会出席市町の選出について

- ・事務局より資料7説明

(4) 中部運輸局二次評価結果について

- ・事務局より資料8説明

<意見>

三寺委員

- ・第三者評価委員会で指摘されている点を各自持ち帰り、対策について協議会で議論できるとよい。

5 閉会